

## 図書館における外国人雇用の支援について

和田香織

高知県立図書館(オーテピア高知図書館)

### 1 はじめに

本レポートでは、ビジネス・ライブラリアン講習会で学んだことを取り入れ、オーテピア高知図書館でこれまで多文化サービスとして取り組んできた課題に対して、地域で働く外国人と彼らに関わる日本人を対象としたビジネス支援であることを改めて捉え直し、今後、図書館が外国人やその雇用主に対してどのような支援を提供できるのか、具体的な取組について検討したい。

### 2 事業の背景

#### 2-1. 高知県における外国人材

高知県は全国に先駆けた人口減・高齢化の加速が顕著であり、それと同時に労働人口の減少、地域経済の縮小という事態を生み出している。担い手不足の解消のため、女性の活躍推進、若者の定着向上、出生率の向上に向けてなど様々な取り組みが行われているが、その対策の中の一つに外国人材の活用がある。<sup>i</sup>

県は、外国人材の確保に向けて「第二期高知県外国人材受入・活躍推進プラン ver2」<sup>ii</sup>を策定し、担い手不足に悩む各産業分野において、外国人材が活躍できる環境の整備を進めている。その中で、「外国人材が暮らしやすい環境づくり」に図書館が位置付けられているように、図書館は地域における多文化共生の情報拠点としての役割を担うことが期待されている。

出入国在留管理庁によると、令和6(2024)年6月末時点での日本における在留外国人数は、358万8,956人(前年末比17万7,964人、5.2%増)<sup>iii</sup>と報告されており、高知県では令和6(2024)年10月末時点の県内の外国人労働者数は、前年比で約17%増となる5,293人と過去最高を更新<sup>iv</sup>している。外国人労働者数の増加と同時に、多国籍化の傾向もみられ、近年は、ベトナム、インドネシアの技能実習生を中心に急激に増えてきている。

## 1 県内外国人労働者数の状況 (R6.10末)

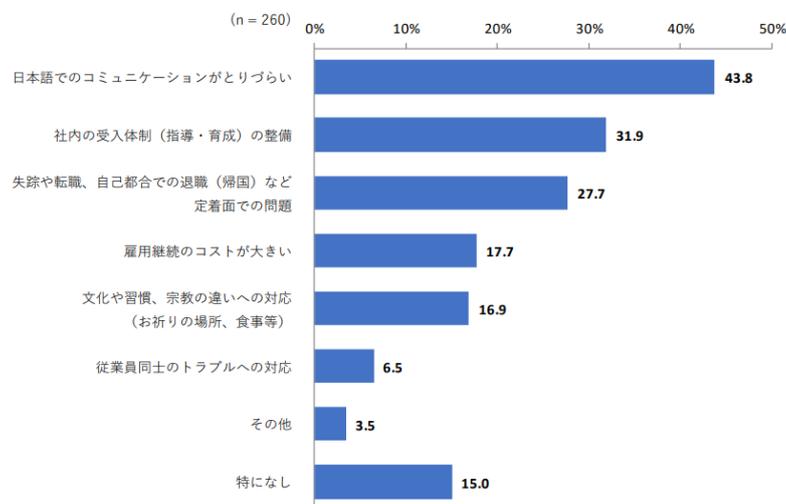
### 【外国人労働者数・受入事業所数の推移】



「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン ver. 2」より

## 2-2. 事業主が抱える課題

事業所・管理団体を対象にした県の調査<sup>v</sup>によると、外国人の受け入れにあたっては、次のような懸念がある。



『令和5年度高知県外国人雇用実態調査報告書』

受け入れにおいて困っている・懸念されること（職場・雇用環境）より

報告書を見ると、「申請書類の作成（実習計画認定申請や入国・在留諸申請）」など雇用に関する課題のほかに、「日本語でのコミュニケーションがとりづらい」、「文化や習慣・宗教の違いへの対応」、「地域社会（住民）の理解を得ること」「住まいの確保」、「けがや病気・災害時への対応」が並ぶ。小さくは、日々の買い物やゴミ出しといった生活援助のような、日本人を雇用する際とは違った特別な配慮が必要であるが、外国人を雇用しようとしているのは、多くが働き手不足に悩んでいる地元の中小企業であり、人手のない中で、制度を調べ、人員を募集し、先にあげた支援を行うのは大きな負担である。外国人を雇用する事業所は増加している一方で、受け入れサポート体制に不安を感じている県内施設、事業主がいるのが現状である。また、日本語教育の支援を求める事業所は多いが、当県は日本語教室の空白地域も多い<sup>vi</sup>。国際交流協会がオンラインで開設しているが、この点においてもさらなる支援が必要である。

## 2-3 オーテピア高知図書館の取組と今後の課題

オーテピア高知図書館は高知県立図書館と高知市立市民図書館が合築共同運営する図書館で、現在は第2期となったオーテピア高知図書館サービス計画に基づき、「これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館」を基本理念に掲げ、「課題解決型図書館」を目指して日々サービスを提供している。

これまでの多文化サービスの取組として、3階にことばと国際交流コーナーを設置し、多言語資料や日本語学習など8類の資料を収集・提供するほか、多言語利用案内の作成、国際交流員や国際交流協会と連携した多文化理解イベントの実施、こどもを対象にした外国語

のおはなし会、日本語学習者を対象にやさしい日本語での図書館活用講座、外国人の図書館活用事例をもとにしたまんが作成、展示コーナー「高知でくらす×はたらく」の設置、外国人求職者を対象とした就職相談会への出前図書館、市町村立図書館への支援として図書セットの提供などを行ってきた。これらは、どちらかという外国人や地域住民を対象としたものが多く、ビジネス支援という視点に立って考えると、特に雇用主に対する情報提供やアプローチは充分ではないと感じている。今後は、多文化サービスを引き続き提供するとともに、受け入れる雇用主に対する支援をなお一層充実させていく必要があると考える。あわせて、オーテピア高知図書館での取組をどのように県全域に広げていくかが課題となる。

### 3 事業内容

この事業の対象者は、外国人雇用をしている、もしくはこれから受け入れを検討する高知県内の事業主とする。なお、厚生労働省の「外国人雇用状況」届出状況（令和6(2024)年10月末時点）によると、高知県の事業所数は1,216所（前年同期比110所増加）と過去最高を更新しており、今後も増えることが予想される。

#### 3-1 関係機関との連携

##### (1) セミナー・相談会の実施

具体的には以下のテーマ、連携先を想定している。

- ①「はじめて学ぶ外国人採用の基本とルール」連携先：行政書士、社会保険労務士  
外国人材受け入れの制度・法知識・手続きに関することを中心に、利用可能な補助金や支援などを紹介し、円滑な受け入れにむけて情報提供を行う。
- ②「外国人介護人材受け入れセミナー」連携先：高知県総合人材センター、介護事業主  
外国人職員を受け入れている介護施設などから受入前後の体制準備、実際の活躍について紹介してもらい、実際に働いている外国人にも自国との違いや異文化の中で奮闘した体験談など語ってもらう。介護のほか、農業や林業など各分野での実施も検討できる。
- ③「多言語翻訳アプリとやさしい日本語」連携先：高知交流協会、文化国際課  
外国人就労者と働く日本人従業員や、海外からの観光客の対応をする日本人など、外国人とのコミュニケーションに悩む人を対象に実施する。

セミナーは、オーテピア高知図書館を会場として、関係機関と連携して実施する。忙しいビジネスパーソンでも参加できるようにオンラインでも同時開催する。講師はそれぞれ連携先に依頼し、参加者を募るにあたっては、受け入れに関わる管理団体、留学生を受け入れている県内大学や国際交流協会など広く協力を依頼する。また、セミナーの後には専門家との相談会の機会も設け、個別課題に対応することとし、その相談先は、各回の講師や県内の外国人雇用相談窓口（2025年度新設予定）、高知県外国人生活相談センターココフォーレ(外

国人と関わる日本人からの相談も可能)が考えられる。

あわせて、図書館職員による図書館活用講座を各回行い、会場に関連資料を持ち込み、相談時は必要に応じて資料を紹介することとする。担当としては、地域における外国人の実態把握、事業主の実際の困りごとの収集ができることや、セミナーを通じた当館のサービスやコーナーの認知度の向上による利用増につながると期待する。

## (2)外国人材を受け入れている県内企業の紹介パネル展示

これから受け入れを検討する事業主にとっては、実際に人材受け入れをしている優良な取り組み事例、具体的なノウハウは有効な判断材料となる。また、地域の住民にとっても、地元の企業を知る機会となる。紹介する企業は、エリアや業種別に複数取り上げることとし、選定には商工政策課や中小企業団体中央会といった関係機関に協力を依頼する。さらに、支援を行っている関係機関の紹介するパネルも作成する。パネルはオーテピア高知図書館内での展示後に市町村市立図書館等に貸し出し、広く活用するものとする。なお、パネル作成にあたっては、企業やそこで働く外国人に実際にインタビュー等を行い、SNS で取材の様子を発信することを検討したい。

ゆくゆくは、こうしてできたつながりの中で、事業主と、事業主を通じた外国人労働者への個別支援へとサービス拡大を図りたい。研修の一環として図書館の機能やサービスを紹介する見学・利用ガイダンスの実施、従業員が業務に必要な資格や日本語能力試験などスキルアップを目指す際の資料提供など、それぞれのニーズや業種、母語に合わせた形で提供される、一歩踏み込んだサービスを実施することで、事業所や個人の課題解決に直接関わっていくことが次の目標である。

## 3-2. 常設展示コーナーの充実と広報強化

現在、ことばと国際交流コーナー内の常設展示「高知で「くらす」×「はたらく」～日本で働く外国人のみなさんと、その支援をする人へ～」では、「きた人」では留学生や高知で働く外国人を対象に、「むかえる人」では外国人を雇用している方や支援者を対象にした資料を提供しているが、外国人雇用を具体的にイメージできるような展示へさらに展開していく。具体的には、

- ・実際に受けたレファレンスの質問とその回答の紹介
- ・外国人の雇用をテーマにパスファインダーの作成・提供
- ・雇用前～雇用にあたって～雇用後など段階別、農業や林業、製造業など分野別ブックリストの作成・提供

などがあげられる。また、広報する際は、図書館でできることを具体的に示すようにとの講師の言葉や竹内会長からの助言もあったが、この場合で考えると、

- ・法的な手続きや雇用のルールへの対応：在留資格や労働法、支援制度の資料
- ・言葉の壁によるコミュニケーション問題：日本語教育・やさしい日本語に関する資料

・日本で生活を送るために：日本の文化・生活習慣やルールに関する資料などが挙げられる。他にも、母語で書かれた資料、非常時対応(防災や病気)で参考になる資料など、図書館にある多様な資料はさまざまな場面で課題解決の糸口になるが、忙しいビジネスパーソンに使っていただくためには、こうしたメリットが一枚もののチラシなどで簡潔にわかった方がよい。そこで、新たにチラシを作成し、SNS・ウェブ・サイトへの掲載や配布により情報発信の機会を増やしていく。

### 3-3. 県内市町村立図書館との連携

県立図書館として、全県域を対象にサービスを行うとともに、市町村立図書館等への支援については常に考えなければならない。高知県内で働く外国人はベトナム人が最も多いが、彼らに対応した資料を所蔵する図書館は残念ながら少なく、多岐に渡る図書館サービスの中でも特にこの分野において、体制が十分に整備されていないのが現状である。そこで、各市町村立図書館等でのサービス提供が一層進むよう、以下の取組を新たに実施する。

#### (1) 多文化共生巡回展示の実施

例年、県立図書館が主催し、県内の市町村立図書館・公民館図書室等に呼びかけ、「がん・認知症関連巡回展示」を行っているが、新たに「多文化共生」をテーマに実施する。展示には、市町村立図書館支援用図書セット（多言語資料、多文化理解に関する資料、雇用主向けの資料など複数作成済み）のほか、企業紹介パネル、県内の関係機関が作成したパンフレットなども設置する。

#### (2) 市町村立図書館を会場とした外国人と日本人との交流イベントの開催

事業所への調査によると、地域住民の理解および就労者の孤立を防ぐため、地域での交流機会を求める声が複数ある。図書館の持つ機能は、単に情報提供にとどまらず、交流や学びの場としてこの声に応えることができると考える。まずは、外国人居住者が多い自治体で関心を持つ図書館を会場に実施する。活用できる当館でのこれまでの取組は以下のとおり。

- ・国際交流員と連携した文化理解講座や映画会、在留外国人のパネルディスカッション
- ・JICA 四国、国際交流協会と連携したワールドツアー in 高知
- ・子ども向け外国語のおはなし会

なお、各市町村立図書館が自ら企画、運営していくことがもちろん望ましい。そのためにも、この事業を通して市町村の職員が関係機関や関係者と繋がることで、新たな展開が生まれることを期待する。

## 4 目的と効果

オーテピア高知図書館のサービスを充実させるとともに、関係機関や市町村立図書館との連携により、今後も増加するであろう外国人雇用にかかる事業主の負担軽減を図り、外国

人職員の円滑な就労支援とその定着を支援することで、県の課題である人材不足の解消への一端を担える。また、間接的には、事業主へアプローチすることで、これまでの多文化サービスの取り組みの中ではリーチの届かなかった、地域の日本語教室等に属していないような県内在留外国人へ図書館サービスを提供するための働きかけも強化できると考える。

## 5 おわりに

外国人を働き手として受け入れる際には、「雇用する側」「雇用される側」の双方へ多様なサポートが必要となる。具体的には、法改正や制度変更に関する情報の定期的な提供により、事業主が最新の法令遵守や制度利用を継続できるようなサポート、外国人スタッフの状況やニーズの変化に応じたフォローアップやキャリア支援、生活支援などである。図書館としても、こうした支援を一時的なものではなく、長期的に継続することが、雇用の安定と、「暮らしやすい」「働きやすい」「学びやすい」環境づくりにつながると考える。

また、この事業にかかわらず、図書館が地域の課題に対応してより良いサービスを提供するためには、関係機関との連携が欠かせない。本講習会の中で講師が仰った、これからの図書館員はトーク力も磨く必要があるという言葉の思い出すと、図書館以外の方との関わりが増える中で自分の営業力、他者を説得し巻き込む力不足を痛感している。だが、その点においても講習会の中で多くのヒントをいただいたし、全国の図書館員、講師の皆さまとの交流の中で、学び、刺激の多い時間を過ごすことができた。本講習会は、改めて県の課題を見つめ、自館の取組を振り返る機会となった。

外国人材は単なる人手不足の担い手としてではなく、事業の海外展開を狙った経営の国際化に伴うブリッジ人材としての役割も期待される。そうした視点での支援も視野に入れつつ、まずは今回受講して学んだことを自分の中に蓄え、行動にうつせる司書となれるよう、できることからひとつずつ実現していきたい。

最後に、本講習会を準備・運営してくださった事務局のみなさま、ご指導いただいたアドバイザーの先生方、2班の皆さまに感謝申し上げます。

---

i 第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略〈令和5年度版〉の策定について

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2023041800062/>

ii 第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン ver. 2 ※全文は非公開

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024040100108/>

iii 出入国在留管理庁 令和6年6月末現在における在留外国人数について

[https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13\\_00047.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00047.html)

iv 厚生労働省高知労働局「外国人雇用状況」届出状況（令和6年10月末時点）

[https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/newpage\\_00238.html](https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/newpage_00238.html)

v 令和5年度高知県外国人雇用実態調査

---

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024042300025/>

vi 文部科学省 日本語教育実態調査－令和5年度 p.25

[https://www.mext.go.jp/content/20241101-mxt\\_chousa01-000038170\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20241101-mxt_chousa01-000038170_02.pdf)

(ウェブ・サイトはすべて 2025/3/17 確認)

#### 参考文献

高知県 外国人材受入れ・共生に関するポータルサイト

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2021122400132/>

「人口減少県・高知が外国人労働者を迎える基本的姿勢」福田善乙『四銀経営情報』

NO.189 2024年4月号 pp.17-33

[https://www.shikokubank.co.jp/ser/resources/image/pdf/publication/management-info/No189\\_2024\\_04.pdf?v=20250217](https://www.shikokubank.co.jp/ser/resources/image/pdf/publication/management-info/No189_2024_04.pdf?v=20250217)

茨城県外国人材支援センター 外国人材の優良受け入れ事例集

<https://ifc.ibaraki.jp/wp-content/themes/imagine/pdf/jirei.pdf>

一般社団法人全国農業会議所 農業分野における特定技能外国人受入れの優良事例集

[https://asat-nca.jp/jp/images/jireisyu\\_2023.pdf](https://asat-nca.jp/jp/images/jireisyu_2023.pdf)

大分県立図書館 日本人と外国人との交流イベント「『やさしい日本語』で世界旅行！」

<https://www.oita->

[library.jp/blogs/blog\\_entries/view/1600/b8ca6958120b8798790e3bac9613c169?frame\\_id=2380](https://www.oita-library.jp/blogs/blog_entries/view/1600/b8ca6958120b8798790e3bac9613c169?frame_id=2380)